

会議開催結果

1 会議の名称	第2回砥部町障害者計画等策定委員会
2 議題	(1) アンケート調査結果の報告について (2) ヒアリング調査結果の報告について (3) 計画書骨子案の審議について (4) その他
3 公開又は非公開の別 (非公開とする場合は、その理由)	公開
4 開催日時	令和5年11月27日(月) 午後2時～午後3時
5 開催場所	砥部町役場 3階 議員協議会室
6 傍聴人数	0人
7 出席者	【委員】5人 青木長、三好澄夫、沼田正紀、三谷吏代、安原優子 【株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所】(委託業者) 栗鶴 蓮 【事務局】 介護福祉課 堀潤一郎、佐々木毅、河本一、林翔太
8 所管課	介護福祉課 障がい福祉係 電話962-7255

第2回 障害者計画等策定委員会 次第

と き 令和5年11月27日（月）午後2時～

ところ 砥部町役場 3階 議員協議会室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議 題

(1) アンケート調査結果の報告について

(2) ヒアリング調査結果の報告について

(3) 計画書骨子案の審議について

(4) その他

第2回砥部町障害者計画等策定委員会会議録（要旨）

発信者	発言内容等
事務局	開会
事務局	本日の委員会ですが中村さん野村さんに欠席のご連絡をいただいておりますが、委員の半数以上が出席しておりますので、砥部町障害者計画等策定委員会規則第6条第2項の規定により会議が成立していることをご報告いたします。
委員長	（委員長あいさつ）
委員長	それでは議事に入らせていただきます。 議題1のアンケート調査結果の報告について事務局から説明をお願いします。
事務局 (株)ジャパン総研	一骨子案に基づきアンケート調査結果について報告—
委員長	ありがとうございました。 何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
委員	主に18歳未満の方の相談支援をさせていただいています。 気になる点がありまして、37ページの療育・保育・教育についてなんですが、調査結果の概要の枠のなかの一番下の保育所、学校や療育機関に関しては、「子どもの障がいの特性や発達に合わせた支援」をはじめ、「保育士・教職員などの障がいへの理解」「周囲の子どもへの理解を深めるための交流会の充実」とありますが、保護者に対しては相談を通じてだったりとか講座とかを別個にさせていただいたりして保護者が子どもの障がいに対して理解するというのがアンケート結果をみるかぎりだいぶ保護者さんが理解してくださっているなど感じています。 ただその一方、保育所や学校の支援に携わっている先生方の理解というのが進んでいないということで悩まれている方が多いということと35ページの18歳未満のことについて「学校などでの人とのつきあい」で最も多く差別・偏見を感じたとなっていることから子供同士だったり先生が理解してくれないということがすごく多くあります。そこで本人や保護者や地域住民への理解・啓発が大事なんです、実際に支援に携わっている幼稚園・保育所の先生や学校の教員への理解・啓発というところをいれていただきたいなと感じていますがいかがでしょうか。よろしく願いいたします。
事務局	この骨子の53ページのところですが、教職員に対する研修の充実ということで前回から障害者計画にも入っていますので引き続き取り組んで参りたいと思っています。
委員	目標の中に入っているが課題としてあがっていないのでお願いします。

事務局	(8) の課題に支援者への理解・啓発の内容を追加しようと思います。
委員長	では続きまして、(2) ヒアリング調査結果の報告について
事務局 (株) ジャパン総研	一骨子案に基づきヒアリング調査結果について報告—
委員長	ありがとうございました。何かご意見やご質問ございますでしょうか。 よろしいですか。ありがとうございます。
委員長	では続いて、(3) 計画書骨子案の審議について
事務局	一骨子案について事務局より説明—
委員長	ありがとうございました。何かございますでしょうか。
事務局	18 ページの(7) 障がい児を取り巻く教育環境の状況の通級指導教室 については、「小学校の児童数は増加で推移していますが、中学校の生 徒数は、緩やかに減少しています。」とありますが、実際には横ばいな ので表現を改めさせていただきます。
委員長	他にございますでしょうか。
委員長	最後にその他ご意見等ございませんでしょうか。
委員	25 ページ以降については、今後の課題というところで、おおきな枠で 捉えられて記載されていますがそこから細かく具体的にこういう形とい うのかたどっていくようになるのですか。
事務局	第4章の 25 ページからというのは、本町の課題まとめについては、障 がい者計画のところになるので、計画期間はまだ途中の為、このままに しようと考えています。令和3年から令和8年までの計画の部分をこの まま前回同様に載せていくようになります。
委員	計画期間のうち約半分が経過しています。現状での計画への取り組み状 況を精査しアンケートにより判明した現状の課題と合わせて検討するこ とで、今後計画を達成するための課題が整理できるのではないですか。
事務局	現状での計画への取り組み状況を調査し、反映します。

委員	このアンケートの調査結果からまた新しく計画を立てていくということですね。 アンケート結果が高齢の身体の方が多くて、実際に現状と若干差異があるのかなとサービスの内容を見るなかですごく思いました。 実際に相談支援を担当している方が精神の方が多くて、利用されているサービスがB型就労、就労移動のサービス利用数が多いなかで実際にアンケート結果から出てきている内容が生活介護だったりヘルパーさんだったりとは若干差異があるのかなと思います。
事務局	第7期計画の見込量でその辺りを盛り込んでいきたいと思います。
委員長	ないようでしたら、以上で予定しておりました議題についてはすべて終了いたしました。事務局にお返しいたします。
事務局	ありがとうございました。 次回、第3回の会議を来年1月に開催したいと思います。なお、後日日程調整をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 以上で本日の策定委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。